

【声明】北朝鮮の核実験の強行に抗議する

2013年2月12日 日本平和委員会

北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）政府が本日、核実験を強行したことに断固として抗議する。

人類と共存できない最悪の非人道兵器である核兵器を開発することは、いかなる国でも許されない。核実験を強行する北朝鮮政府の態度は、自らこれまで合意してきた朝鮮半島の非核化めざす国際合意に背き、北東アジアの平和と安定を脅かすものである。

北朝鮮政府は、1992年の「南北非核化宣言」、2000年6月15日の「南北共同声明」、2002年9月17日の「日朝平壤宣言」、2005年9月19日の第4回6カ国協議共同声明などを遵守し、核兵器開発計画を放棄し、「6カ国協議」への復帰など、朝鮮半島の非核化と北東アジアの平和の実現ための努力をすすめるべきである。

日本政府を含む国際社会も、北朝鮮政府がこうした国際合意に沿った平和的な努力に復帰することを求めることに力を尽くすべきである。日本政府自身も軍事的対応に終始するのではなく、非核のアジアと世界をつくる被爆国にふさわしい積極的イニシアティブを発揮する立場で、外交努力を強めるべきである。